

1 2月定例教育委員会会議録

1、開会年月日 令和5年12月25日（月）

2、閉会年月日 令和5年12月25日（月）

3、出席委員氏名

吉田 義和 西田 伊作 西畑 敦司

末浪 真希

4、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事 務 局 長 奥村 紀一

教 育 次 長 山口 忠幸

教 育 総 務 課 長 石原 康司

ま な び 推 進 課 長 藪内 善史

ま な び 推 進 課 付 課 長 大石 有香

文 化 財 課 長 今里 美恵子

図 書 館 長 高橋 樹一郎

こ ども 未 来 課 長 河合 宏明

5、会議に付した議案の件名

日程第1 教育長報告

日程第2 議題

第32号 天理市教育委員会の権限に属する管理及び執行の状況に関する

点検・評価（案）について

日程第3 報告

「RAMPS」等について

6、会議の経過議題

開会	午後	2時00分
終了	午後	2時14分

1 吉田委員（教育長職務代理）

1 1月の定例教育委員会を開会いたします。

本日の署名委員は末浪委員と私、吉田です。よろしく申し上げます。

日程第1「教育長報告」ですが、教育長不在のためなしです。

日程第2「議題」にいけます。「議題第32号 天理市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価（案）について」の説明を教育総務課からお願いいたします。

1 教育総務課長

「議題第32号 天理市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価（案）について」ですが、先般開催されました教育委員会協議会におきまして、教育委員の皆様からさまざまなご質問等をお受けし、またご指摘もお受けいたしました。書面に特に大きな修正部分はなく、誤字脱字等の軽微な修正を施し、本日の議題として上程させていただいたものでございます。

1 吉田委員

ただいまの報告について、何かお気づきの点がありましたらお願いします。よろしいですか。

ないようですので、「議題第32号 天理市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価について」を承認することといたします。

議題は以上です。続いて日程第3「報告」に移ります。「RAMP S」等についてまなび推進課からご報告ください。

1 まなび推進課長

今回の12月議会の一般質問であった、「RAMP S」という自殺

のリスクを回避するために、子どもたちの悩み等を、パソコンツールを使って相談できる仕組みがあるので、紹介をいただいたものでございます。子どもたちが、普段の生活の中で質問に回答したものについて、担任等がその情報をキャッチできるという仕組みでございます。

ただ、費用的には学校1校当たり7万円。年間で生徒1人当たり200円ということで、費用がかかるのですが、こういう自殺リスクで挙げたいじめ等につきましては、教育長からの議会の答弁でもありましたが、既に奈良県全体として「いいネットなら」のアカウントをすべての児童生徒に付与しております。また、「いじめアンケート」「人権を確かめあうアンケート」「こころと生活等に関するアンケート」この3つの県が主催しているアンケートを、天理市でもすべての小中学生でやっております。それについては、すべてパソコンを使って答えております。つきまして、天理市におきましても、こういう「RAMPS」というものを紹介はいただきましたけれども、きちんと子どもたちのいじめ予防や自殺のリスクをキャッチする仕組みは、県と共にやっているという状況でございます。紹介いただいた内容につきましては、どういう形で天理市として取り扱うことができるのかというところも、費用面も含めて検討をして、県で行っている現状の取り組みで十分足りるのであるならば、それを重要視してやっていけたらなと思っておりますので、一度ご意見をいただきたいと思います。よろしく申し上げます。

1 吉田委員

この「RAMPS」について、何か質問がありましたらお願いいたします。

1 末浪委員

この「RAMP S」が導入された場合、どのようなイメージになるのかをお聞きしたいです。1人1人が入れて気軽にメッセージを送れるというような、そういう状態なのですか。

1 まなび推進課長

そうですね。特に決まったときに使うようなものではないです。生徒が日々悩んだときに回答できるような仕組みになっているものと思われま。詳細がまだ十分に把握できていないのですけれども。もし導入した場合には、それを積極的に使ってね、ということではあるのですが、県のアンケートとこれが併用になってしまうので、現場としては、どういう捉えをするのかわからないです。

1 末浪委員

わかりました。ありがとうございます。

1 吉田委員

これまで、心の健康状態を知るためのチェックリストのようなものがある、日を決めて一斉に答えさせて、それで見るという。で、気にかかる子は普段の様子を観察をより深めて、ということをしていましたけれども。ああいうのではなくて、子どもたちが持っている機械から、個別にアプローチしていくような、そういうものなのですか。

1 まなび推進課長

はい。

1 吉田委員

天理市としては、これは入れていきたいというそういう方向性は持っているのですか。

1 まなび推進課長

検討はします、という回答をしているぐらいで、議会では、積極的に導入します、という回答はしていません。

1 吉田委員

ネットで送っていただいた資料も、詳しくは書かれていますのですが、末浪委員がおっしゃったように、具体的にどんな話で進んでいくのかというイメージがなかなか捉えられなかったので、もう少し資料が欲しいなと思うのですが。あと、他市の取り組み例があればありがたいなと思います。

1 まなび推進課長

そうですね。多分導入している県もありますので、確認しながら進めていけたらなど。

1 吉田委員

ここでもう突っぱねてしまうには勿体ないかなと思います。では、また資料をいただくということで。

1 まなび推進課長

はい。

1 西畑委員

生徒の心の状態をはかるということでは、南中校区で取り組まれていたもの、名前は失念しましたが、割と安価でできるということで取り組まれたそういうのもありましたし、有名なところではQ-Uとか。このクラスでの取り組み方、関り方を探っていこうというものもあって。そういうものは、実際南中校区で効果が出たかどうかまではわからないですが、Q-Uというのは、結構高専でも効果は出ているとい

うふうに聞いています。この取り組みも、ツールにどういうものを使うかというより、どういうふうに運用していくかがもっと大事なことだと思います。最初のご説明の中に出てきたように、みんな端末はそれぞれ持っているから、一斉に各項目に答えるのではなくて、今ふつと、あ、そういえばちょっとポロッと漏らしたいな、今ちょっと辛いなというようなときに、ポッといつでも回答できるような。そういった使われ方で運用されるのであれば、それこそ有用に使っていけるのではないかなと思います。今ここに出した2つのツールというのは、どちらかというと、児童生徒がクラスの中でどういうふうな位置づけで今関わっているのか。もう一つは、今しんどい事がどのくらいあるのかというようなその捉え方のように受けたので。そのアラートの頻度によって費用が変わるということがあるのかもしませんが、その辺ももう少し調べていただいて。できるだけ児童生徒がポロッと吐きやすい環境を整えてあげてほしいなと思いますので。お願いします。

1 まなび推進課長

はい。ありがとうございます。

1 吉田委員

法務局から毎年春ごろに配られる「こどもの人権SOSミニレター」ってありますよね。悩み事があるってそれを出すと、緊急性があるものは法務局がすぐ対応してくれますし、普通の相談であれば、人権擁護委員が回答を1週間以内を書いて戻すというのがありますけれども。天理市で今年に入って4件ぐらい来ています。県全体で見れば、人権擁護委員まで届けているのでは間に合わないような緊急のものは法務局ですぐ対処してもらっていますし、結構な数があるみたいなのです。

が。ああいうものも子どもたちが使いやすいように、これを運用する
ならまた進めてもらえたらと思います。

1 まなび推進課長

はい。

1 末浪委員

ちょうど「RAMP S」のホームページを見ていたときに、割と自殺に特化した取り組みに成果が出ていて。重度のところを拾い上げることなのかなと思いました。また、新潟県で導入しているところが非常に多くて、次に長野県。雪国地方というか、そういうところも何か特化しているのか、あまりこの関西圏ではまだ導入されていないので、それも参考に、導入するのであれば引き続き見させてもらえたらと思います。

1 まなび推進課長

はい。ありがとうございます。

1 吉田委員

既にやっておられるところの内容や効果の報告も、あればお願いしたいと思います。

それでは、「RAMP S」についてはよろしいですか。

では他の件について何か報告ありましたらお願いします。

ないようですので、これをもちまして定例教育委員会を閉会します。

ありがとうございました。

閉会 午後 2時14分